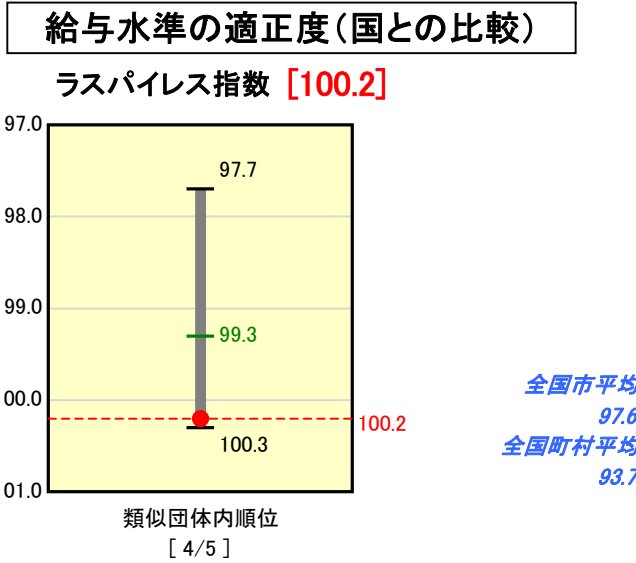
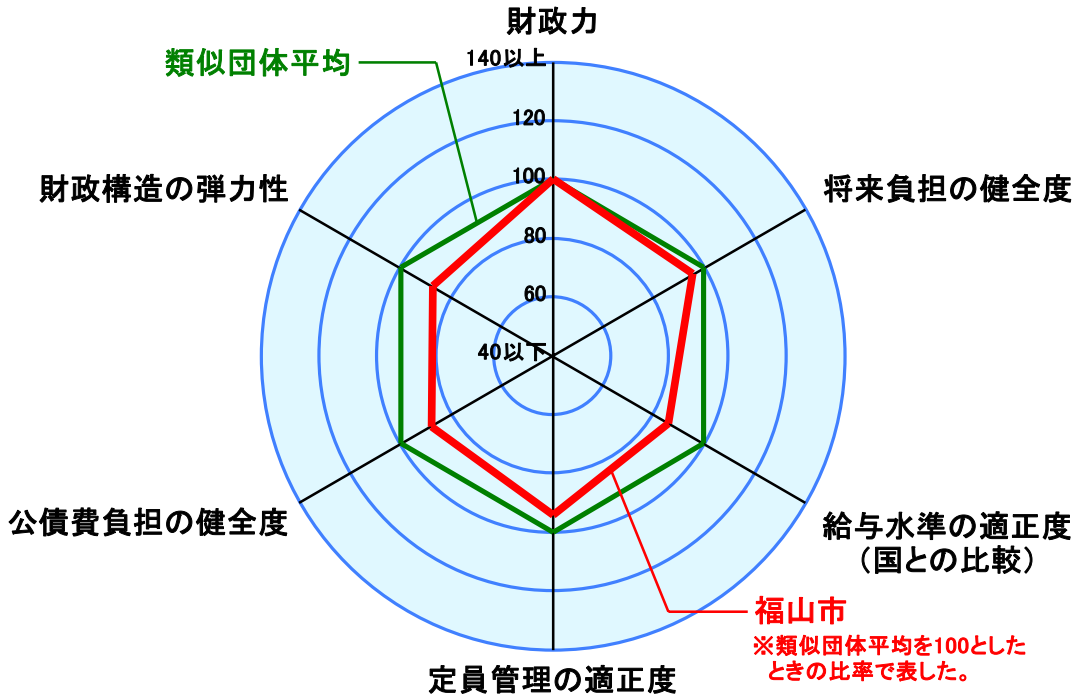
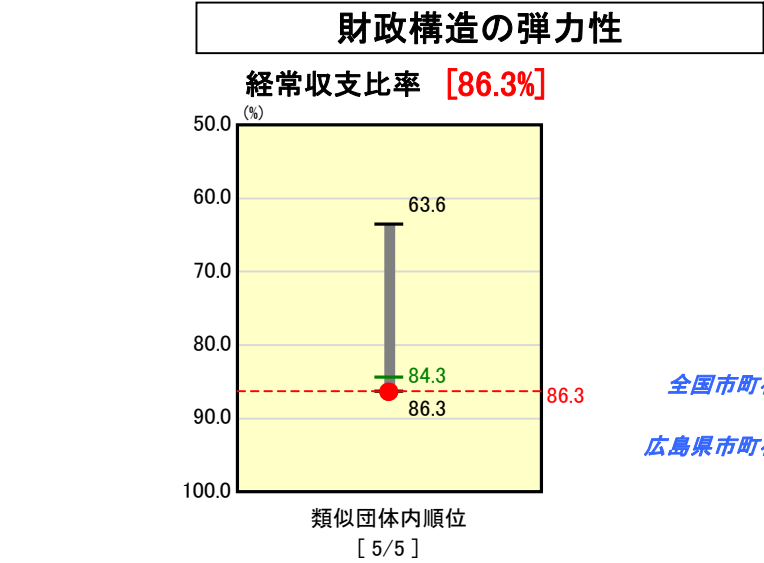
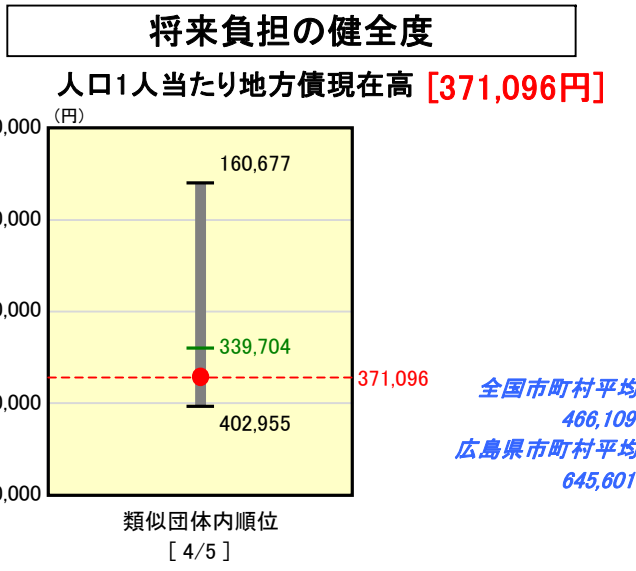
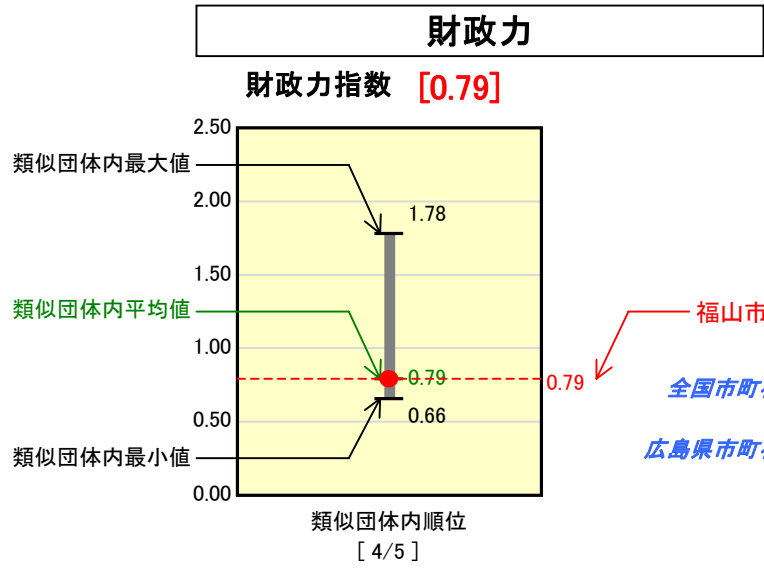


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

広島県 福山市

人口	420,492人(H17.3.31現在)
面積	461.23 km ²
歳入総額	141,838,187千円
歳出総額	138,418,297千円
実質収支	2,548,721千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【財政力指数】
 ・平成10年度の中核市移行、近年の合併や固定資産税等の収収減により、0.8前後を推移している。今後、収収増により、数値の改善が見込まれる。

【経常収支比率】
 ・普通交付税及び臨時財政対策債の減少により経常一般財源は減少、一方で経常充当一般財源は前年度繰上償還により、公債費充当分の減はあったものの、国庫補助負担金の削減・廃止等により、人件費・扶助費充当分は増加した。類似団体内では一番高い数値となっており、引き続き市の収収率向上等を中心とした歳入確保に努めるとともに、行政の効率化による歳出削減を行い、財政基盤の強化に努める。

【起債制限比率】
 ・平成10年度から13%台前半で推移している。大型事業や景気対策により、平成5年度から平成11年度にかけて150億円前後の借入が続いたため、償還額が多くなっている。借入は元金償還額の範囲を基本とし、抑制を図っている。

【人口1人当たり地方債現在高】
 ・合併建設計画の推進に係わり、合併特例債の発行増等の要因はあるが、市債残高が累増しないよう、元金償還額の範囲内の借入を基本とした計画的な市債の発行、また、繰上償還等の公債費対策を実施し、市債残高の縮減に努めている。

【ラスパイレス指数】
 ・ラスパイレス指数は全国市平均を2.6上回り、類似団体中でも上位に位置しているが、中核市比較では平均的水準となっている。指数引上の要因として、職員の経験年数別構成(職員数の58%超が経験年数25年以上)があるが、採用退職等により年々低下傾向にある。平成14年度から55歳昇給停止の導入、平成15年度には特殊勤務手当の全面見直しなどを行ったところであり、今後より一層の適正化に努める。

【人口1,000人当たり職員数】
 ・職員数は、平成10年度からの8年間で449人の削減を行った。本市は、広い行政区域を有していることから多くの支所や学校等に職員を分散配置していること、また特色である全員入所を基本とした公立保育所の充実など積極的な保育行政を推進していることから、類似団体の中ではやや高い数値である。今後は、本市が掲げる「5年間で約5% (約230人) の削減」の目標達成を目指す。

